

第36回日本全身咬合学会学術大会 特別講演・教育講演・シンポジウムのご案内

開催日：2026年11月14日(土)、15日(日)

会場：日本歯科大学 九段ホール

特別講演 全身と咬合を多次元的視点から再考し臨床に活かす

日本歯科大学 名誉教授 小出 馨

不正咬合や歯の喪失、経年的咬耗など、様々な要因で咬合に不調和が生じると、下顎や頭位の偏位を引き起こす。さらにその影響が、筋膜連鎖や重心バランスと姿勢制御機能により、全身の歪みへと伝搬して徐々に様々な徴候が発現してくる。これらの生体現象に対して、的確に診断を行うことは、全身の健康維持の観点からも極めて重要である。本講演では、咬合に関連して示されてきた知見に、筆者が蓄積してきたデータを加えて多次元的に整理・統合し、臨床に即して提示する。



教育講演Ⅰ 主機能部位に学ぶ、咀嚼を託された第一大臼歯咬合面形態のあり方

東京証券業健康保険組合診療所 加藤 均

学生時代に咬合学の虜となつて以来、50年におよぶ機能的咬合面形態追求のなかで主機能部位と出合い、日々の臨床に役立つ実践的な咬合理論を構築することができた。主機能部位とは、食物の粉碎の多くが第一大臼歯に局在する僅か5mm四方程度の範囲で営まれていることを発見し、名付けた部位である。今回はそのような主機能部位に基づく咬合理論が明らかにした、咀嚼を円滑に営むための第一大臼歯咬合面形態のあり方を示し、その実現例を紹介する。



教育講演Ⅱ 噛むとは何か？食べるとは何か？—補綴臨床からみた咀嚼機能の本質—

日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第1講座 教授 隅田由香

「よく噛めるようにする」ことは、補綴治療の重要な目標であり、その実現は補綴臨床の大きな成果である。本講演では、咀嚼機能の改善にとどまらず、「噛める」ことが実際の「食べる」こと、さらには栄養や身体機能へどうつながるのかを、臨床研究やシステマティックレビューから検証する。咀嚼機能と食事・栄養の間にあるギャップを見つめ直し、補綴臨床の新たな可能性と今後求められる役割を考える。



シンポジウム 「噛めるための歯科治療」

生体の顎運動特性にマッチしたクラウンブリッジ治療

北海道大学 名誉教授 山口泰彦

ヒトが支障なく噛めるためには、中心咬合位だけではなく、偏心運動経路も勘案した形態の付与が必要である。しかもその際、咀嚼運動終末付近の運動経路だけでなく、咀嚼運動以外の顎運動特性まで含めた対応が求められる場合も少なくない。講演では、形式的で一律な理想咬合ではなく、個々の患者における運動経路の個性にマッチし、生体への為害作用が可及的に排除され、しかも気持ちよく噛むことができるクラウンブリッジをどのように目指すかを解説する。



よく噛める義歯が備えるべき要件

東北大学 名誉教授 坪井明人

患者の「よく噛める」が指すものは、必ずしも食品を物理的に咬断・粉碎する効率(能力)に限らず、「ストレスなく噛める」ことを意味することも多い。いずれの評価においても「よく噛める義歯」には、喪失した形態(歯・歯周組織など)と咬合の回復が共通して求められるが、単なる形態的回復が適切な口腔機能の回復に結び付くとは限らない。「よく噛める」義歯とは、機能時の義歯の挙動を生体自身の制御可能な範囲に収めたものであることを示す。



歯周病治療から考える「噛めるための歯科治療」

日本歯科大学新潟生命歯学部歯周病学講座 教授 佐藤 聡

「歯を残す」ことは、「噛める」ことにつながるのか。歯周炎は、歯周組織を破壊するだけでなく、歯の動揺や咬合の変化を通じて咀嚼機能にも影響する。本講演では、歯周基本治療による炎症コントロールが、歯周組織の安定化、咬合の安定、そして「噛める」口腔機能の維持・回復にどのようにつながるのかを解説する。歯を守ることから、噛めることを守る歯科治療へ。その考え方を歯周病治療の視点から考える。



- 参加費 事前登録 医師・歯科医師：12,000円、その他の医療従事者：6,000円、学生：3,000円
当日登録 医師・歯科医師：15,000円、その他の医療従事者：8,000円、学生：3,000円

事前登録締切：令和8年10月31日(土) ※11月1日以降は、学会会場にてお手続きください。

振込先：三菱UFJ銀行 神楽坂支店(052) 預金種目：普通 口座番号：1076562

加入者名：第36回日本全身咬合学会学術大会大会長隅田由香

・大会運営事務局 日本歯科大学歯科補綴学第1講座 (TEL: 03-3261-5729、E-mail: hotetsu1@tky.ndu.ac.jp)

※ 入会金、年会費、参加費を含め、正会員では15,000円、準会員では6,000円で参加でき、会員とすることができます。希望される方は大会事務局あるいは学会事務局 (office@jaoh.jp) にメールでご連絡ください。